

子宮頸がんでアバスチン併用化学療法中あるいは治療後の  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター産科婦人科では、上記の治療で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

進行・再発子宮頸癌に対するBevacizumab併用化学療法の有用性についての後方視的検討

※ Bevacizumab とはアバスチンのことです

【研究の背景と目的】

子宮頸がんに対する抗がん剤加療は、従来パクリタキセルおよびシスプラチンの2剤を中心に行われてきました。しかし、2016年に本邦で進行・再発子宮頸癌に対する化学療法とベバシズマブ(Bev)の併用が承認されましたが、国内でのその使用報告はまだまだ少ないです。そこで当院では Bev 併用化学療法について、従来の成績と比較検討することになりました。

【対象となる方】

進行・再発子宮頸癌に対し、2015年1月から2017年4月に化学療法単独治療を行った方

進行・再発子宮頸癌に対し、2017年5月から2020年3月に化学療法に Bevacizumab を併用し治療を行った方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

カルテ情報：

- ・本治療を通しての理学所見、画像所見による抗腫瘍効果、有害事象
- ・本治療を通しての血算、生化学検査、尿検査など。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2022年3月31日まで実施され、約30名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集され

たデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。  
また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

#### 【結果の公表】

この研究の研究成果は日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会などで発表予定ですが、その際も患者様を特定できる個人情報は公表致しません。

この研究の研究成果は日本産科婦人科雑誌、日本婦人科腫瘍学会雑誌などへ投稿する予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表致しません。

#### 【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 産科婦人科 濱田 佳伸（助教）

#### 【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 産科婦人科 担当者：濱田 佳伸（助教）

電話番号：048-965-8597（医局直通） 月・水・金 10時～16時

以上